

平成 23 年 12 月 28 日

院内がん登録ご担当者殿

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん統計研究部 院内がん登録室

院内がん登録 標準登録様式の一部変更について

拝啓、時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

今般、厚生労働省健康局総務課がん対策推進室より、がん診療連携拠点病院院内がん登録の必須項目について「平成 24(2012)年 1 月より、病期分類について UICC TNM 悪性腫瘍の分類第 6 版から第 7 版に、原発性肝癌取扱い規約については第 4 版から第 5 版に準拠したものに變更すること」が通知されたことを契機に、標準項目についても【別紙】のように、一部を變更することにいたしましたので、お知らせいたします。

UICC TNM 分類に関しての變更は[項目番号230]、[231]、[240]、[250]、[260]、[270]、[280]、[290]、[300]が関連しており、原発性肝癌取扱い規約に関する變更は[項目番号231]、[232]が関連します。

この病期分類に関する變更については、必須項目では平成 24(2012)年 1 月以降の診断日となる症例となっておりますが、標準項目を用いる施設におかれましては、自施設診断症例については診断日 2(自施設診断日)が、他施設診断症例については当該腫瘍初診日が平成 24(2012)年 1 月 1 日以降の症例について適用していただくようお願いいたします。

敬具

【連絡・問い合わせ先】

国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部 院内がん登録室
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

TEL 03-3542-2511 (内線 3429、3431)

FAX 03-3547-8584

【別紙】

【がん診療連携拠点病院 院内がん登録の登録対象について】

【改正前】

平成19(2007)年1月1日以降の新規診断症例の登録より2006年度版修正版を用いた登録を行うことを推奨する。

がん診療連携拠点病院における院内がん登録においては、登録の対象について、国際疾病分類－腫瘍学第3版(ICD-O-3)における形態コード(標準登録様式での項目番号330「組織診断名コード」がそれに該当する)の性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のものとする。

(2003年度版では、ICD-O-2やICD-10による登録も可としていたが、2006年度版修正版が適応される2007年1月1日の新規診断症例からはICD-O-3での登録とする。)

ただし、脳腫瘍に関しては、原則的に良性であっても、登録対象とする。脳腫瘍での登録の対象となる部位は、ICD-O-3の局在コード(標準登録様式での項目番号200「診断名コード」)では以下の通りとする。

C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3

また、上記の腫瘍のうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初診、診断・治療の対象となった腫瘍を登録対象とする。現在、入院登録のみの施設は、外来のみの診断・治療を含む症例について登録可能になるよう院内がん登録を整備することが望まれる。

疑診の段階の腫瘍については、院内がん登録に疑診として登録するか、疑診症例のみを別のファイルで保管するかは、各施設での院内がん登録作業内容により異なるため、各施設での作業内容(手順)を考慮し、決定することとする。

1 入院1登録の形の院内がん登録を行っている施設では、平成19(2007)年1月1日以降の新規診断症例の登録からは、1腫瘍1登録となるよう登録をおこなうか、集計時に1腫瘍1登録に情報が統合できるよう仕組みを構築する必要がある。

【改正後】

平成24(2012)年1月1日以降の新規診断症例の登録は、本改訂版(2012年修正第2版)を用いて行うことを推奨する。

がん診療連携拠点病院における院内がん登録においては、登録の対象について、国際疾病分類－腫瘍学第3版(ICD-O-3)における形態コード(標準登録様式での項目番号330「組織診断名コード」がそれに該当する)の性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のものとする。

ただし、脳腫瘍に関しては、原則的に良性であっても、登録対象とする。脳腫瘍での登録の対象となる部位は、ICD-O-3の局在コード(標準登録様式での項目番号200「診断名コード」)では以下の通りとする。

C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3

また、本改訂版では、UICC TNM 悪性腫瘍の分類第7版に準拠した登録となるため、消化管間質腫瘍(GIST)については、例外的に性状コード/1についても登録の対象とする。

また、上記の腫瘍のうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初診、診断・治療の対象となった腫瘍を登録対象とする。現在、入院登録のみの施設は、外来のみの診断・治療を含む症例について登録可能になるよう院内がん登録を整備することが望まれる。

疑診の段階の腫瘍については、院内がん登録に疑診として登録するか、疑診症例のみを別のファイルで保管するかは、各施設での院内がん登録作業内容により異なるため、各施設での作業内容(手順)を考慮し、決定することとする。

1 入院1登録の形の院内がん登録を行っている施設では、平成19(2007)年1月1日以降の新規診断症例の登録からは、1腫瘍1登録となるよう登録をおこなうか、集計時に1腫瘍1登録に情報が統合できるよう仕組みを構築する必要がある。

【腫瘍情報】 標準登録様式 P28

【改正前】

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
230	ステージ（治療前・UICC）		主要5部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の T、N、M 各区分に相当するステージを記録する。婦人科領域では、TNM の代わりに FIGO 分類が使われ、この場合のステージは、UICC によるものと基本的に一致する。悪性リンパ腫については、TNM 分類における Ann Arbor 分類を用いる。脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

ステージ（治療前・UICC）のコード

- 00 ○期
- 10 I期
- 20 II期
- 30 III期
- 40 IV期
- 99 不明
- 空欄 対象外の臓器（UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
231	治療前のステージ（主要5部位）		主要5部位については、◆

治療前のステージに関しては、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんについては UICC TNM 悪性腫瘍の分類（第6版）を用い、肝がんについては原発性肝癌取扱い規約（第4版）による分類を用いる。

治療前のステージ（主要5部位）のコード

- 0 ○期
- 1 I期
- 2 II期
- 3 III期
- 4 IV期
- 9 不明

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
232	ステージ（治療前・取扱い規約）		肝がんについては、●

がん取扱い規約の取り決めに従い、診断時のステージを記録する。

ステージ（治療前・取扱い規約）のコード

- 00 ○期
- 10 I期
- 20 II期
- 30 III期
- 40 IV期
- 99 不明
- 空欄 対象外の臓器（取扱い規約のない部位・臓器）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
240	TNM 分類（UICC）T 分類		主要5部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の T 分類を記録する。

悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

TNM 分類（UICC）T 分類のコード

- 00 T0
- 01 Tis
- 10 T1
- 20 T2
- 30 T3
- 40 T4
- 99 TX, 不明
- 空欄 対象外の臓器（UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
250	TNM 分類 (UICC) N 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の N 分類を記録する。

悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

TNM 分類 (UICC) N 分類のコード

- 00 NO
- 10 N1
- 20 N2
- 30 N3
- 99 NX, 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
260	TNM 分類 (UICC) M 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の M 分類を記録する。

悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

TNM 分類 (UICC) M 分類のコード

- 00 MO
- 10 M1
- 99 MX, 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
270	ステージ (術後病理学的・UICC)		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の pT、pN、pM 各区分に相当するステージを記録する。婦人科領域では、TNM の代わりに FIGO 分類が使われ、この場合のステージは、UICC によるものと基本的に一致する。

悪性リンパ腫については、TNM 分類における Ann Arbor 分類を用いる。

脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

ステージ (術後病理学的) [項目 270] は、手術摘出検体をもとに行われた病理組織的診断により判断される。なお、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法などを施行の後、手術 (体腔鏡的・内視鏡的手術を含む) を施行した場合は、手術前の治療の影響が想定されるため、ステージ (治療前) [項目 230] を優先し、ステージ (術後病理学的) [項目 270] は 80 : 適応外として登録する。

ステージ (術後病理学的・UICC) のコード

- 00 0 期
- 10 I 期
- 20 II 期
- 30 III 期
- 40 IV 期
- 99 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)
- 80 術前治療後

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
280	pTNM 分類 (UICC) pT 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の pT 分類を記録する。悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

pTNM 分類 (UICC) pT 分類のコード

- 00 pT0
- 01 pTis
- 10 pT1
- 20 pT2
- 30 pT3
- 40 pT4
- 99 pTX, 不明
- 80 術前治療後
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
250	pTNM 分類 (UICC) pN 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の N 分類を記録する。

悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

pTNM 分類 (UICC) pN 分類のコード

00 NO

10 N1

20 N2

30 N3

99 NX, 不明

80 術前治療後

空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
260	pTNM 分類 (UICC) pM 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の M 分類を記録する。

悪性リンパ腫、脳腫瘍・白血病に関しては、今回の版では考慮しない。

pTNM 分類 (UICC) pM 分類のコード

00 pM0

10 pM1

99 pMX, 不明

80 術前治療後

空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)

【改正後】

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
230	ステージ（治療前・UICC）		主要5部位については、●

UICC TNM 悪性腫瘍の分類第7版の取り決めに従い、診断時の T、N、M 各区分に相当するステージを記録する。

ステージ（治療前・UICC）のコード

00	0期
10	I期
20	II期
30	III期
40	IV期
99	不明
空欄	対象外の臓器（UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
231	治療前のステージ（主要5部位）		主要5部位については、◆

治療前のステージに関しては、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんについては UICC TNM 悪性腫瘍の分類（第7版）を用い、肝がんについては原発性肝癌取扱い規約（第5版）による分類を用いる。

なお、UICC TNM 悪性腫瘍の分類では「癌腫」を、原発性肝癌取扱い規約では「肝細胞癌および肝内胆管癌」をその対象とする。

治療前のステージ（主要5部位）のコード

0	0期
1	I期
2	II期
3	III期
4	IV期
9	不明
空欄	該当なし（主要5部位以外、あるいは主要5部位で UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版あるいは原発性肝癌取扱い規約 第5版に記載のない部位または組織型）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
232	ステージ（治療前・取扱い規約）		肝がんについては、●

癌取扱い規約の取り決めに従い、診断時の T、N、M 各区分に相当するステージを記録する。

原発性肝癌については、原発性肝癌取扱い規約第5版の取り決めに従って分類する。

ステージ（治療前・取扱い規約）のコード

00	0期
10	I期
20	II期
30	III期
40	IV期
99	不明
空欄	対象外の臓器（取扱い規約に記載のないあるいは対象外とされた部位または組織型）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
240	TNM 分類（UICC）T 分類		主要5部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の T 分類を記録する。

TNM 分類（UICC）T 分類のコード

00	T0
01	Tis
10	T1
20	T2
30	T3
40	T4
99	TX, 不明
空欄	対象外の臓器（UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型）

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
250	TNM 分類 (UICC) N 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の N 分類を記録する。

TNM 分類 (UICC) N 分類のコード

- 00 NO
- 10 N1
- 20 N2
- 30 N3
- 99 NX, 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
260	TNM 分類 (UICC) M 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の M 分類を記録する。

TNM 分類 (UICC) M 分類のコード

- 00 MO
- 10 M1
- 99 MX, 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
270	ステージ (術後病理学的・UICC)		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の pT、pN、pM 各区分に相当するステージを記録する。

ステージ (術後病理学的) [項目 270] は、手術摘出検体をもとに行われた病理組織的診断により判断される。なお、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法などを施行の後、手術 (体腔鏡的・内視鏡的手術を含む) を施行した場合は、手術前の治療の影響が想定されるため、ステージ (治療前) [項目 230] を優先し、ステージ (術後病理学的) [項目 270] は 80 : 適応外として登録する。

ステージ (術後病理学的・UICC) のコード

- 00 0 期
- 10 I 期
- 20 II 期
- 30 III 期
- 40 IV 期
- 80 術前治療後
- 99 不明
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
280	pTNM 分類 (UICC) pT 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の pT 分類を記録する。

pTNM 分類 (UICC) pT 分類のコード

- 00 pT0
- 01 pTis
- 10 pT1
- 20 pT2
- 30 pT3
- 40 pT4
- 99 pTX, 不明
- 80 術前治療後
- 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第7版に記載のない部位または組織型)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
250	pTNM 分類 (UICC) pN 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の N 分類を記録する。

pTNM 分類 (UICC) pN 分類のコード

00 NO

10 N1

20 N2

30 N3

99 NX, 不明

80 術前治療後

空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第 7 版に記載のない部位または組織型)

項目番号	項目名	別名	標準項目、オプション項目の別
260	pTNM 分類 (UICC) pM 分類		主要 5 部位については、●

UICC の取り決めに従い、診断時の M 分類を記録する。

pTNM 分類 (UICC) pM 分類のコード

00 pM0

10 pM1

99 pMX, 不明

80 術前治療後

空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第 7 版に記載のない部位または組織型)